

ミサキカグマ

Dryopteris chinensis (Baker) Koidz.
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内での生育確認地は多くなく、里地・里山の林床や山道の斜面等に生育する。あまり群生はしない。

分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は大野市、敦賀市、南越前町、池田町。

種の特徴

夏緑性で、根茎は短く、葉を出す。葉柄は10～20 cm、葉身は五角形で長さ15～30 cmで幅は長さよりやや小さい。3回羽状深裂し、最下羽片が最大。孢子嚢群は小羽片の縁よりにつく。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1982)
福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○	○							○	

マルバベニシダ

Dryopteris fuscipes C.Chr.
オシダ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。県内で9地区に散在を確認したが、個体数が少ない上、生育地の岩場付近が道路の拡張や、のり面補強によって脅かされている。

分 布

全国分布は、本州（新潟県以南）～九州まで。県内分布は嶺北、嶺南に散在。

種の特徴

常緑性のシダ類。葉柄は高さ20～40 cm。葉身は2回羽状複生、卵状長楕円形～三角状卵形で高さ25～60 cm、幅15～30 cm。羽片は披針形で長く鋭尖頭。葉質は紙質から革質。若芽の時は赤みを帯びる。

生育を脅かす要因

道路工事、特にのり面補強によって岩場が減少している事。開発。

参考文献 岩槻邦男編 (1992)、中池敏之 (1992)、渡辺定路 (2003)
福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○	○	○		○	○				○	○	○

シノブ

Davallia mariesii T.Moore ex Baker
シノブ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

森林伐採等による生育環境の消失や悪化により減少している。

分 布

北海道～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

山地の岩上や樹幹上に生える夏緑性のシダ類。根茎は長く匍匐し、密に鱗片がある。鱗片は褐色～灰褐色。葉は広い間隔をおいて付き、葉柄は長さ5～15 cm、葉身は長さ10～20 cm、幅8～15 cm、3～4回羽状深裂する。孢子嚢群は裂片に1個付き、包膜はコップ状。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 岩槻邦男編 (1992)、福井県自然保護課編 (2004)
福井県植物研究会 (2000)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○				○	○						○	○	